

鹿児島・岩崎グループが
208路線1174Km
バス路線廃止の届け出

地域の足を守れ、特別な対策を

日本共産党・仁比聡平議員が参院決算委で質問



◎仁比聡平参院議員

鹿児島県で、先日、高速船事故を起こしました岩崎グループが、一昨日、八日、県下全域で二百八路線に上りますバス路線の廃止を届け出た、この問題についてお伺いをしたいと思うんです。

これは関係自治体の対策協議会の要望を振り切る形での届出で、ほとんどの県民、利用者にとっては突然のことでありまして、大変大きな衝撃が広がっております。廃止対象は鹿児島交通など五社三百二十三系統、運行距離は一千百七十四キロメートルに及ぶ大変大規模なものでございまして、全国的に見てもこれほど大規模な路線廃止というのはないかと思っております。

大隅半島で申しますと、岩崎グループのバス以外公共交通機関はございません。お年寄りあるいは障害者、学生、子供たちなど、交通弱者にとって正に生活の足を奪われるという事態でございます。例えば県立鹿屋高校の教頭先生に私もお伺いをしましたら、在校生が九百五十四人いるんですけれども、うち二百三十九人、二五％はバス通学、でもう途方に暮れていると、そういうことになるわけです。私もこの鹿屋にも度々お訪ねをしてきましたけれども、大変深刻な地域経済を考えたときに、この路線廃止がどれほど甚大な影響を与えるのかと、大変重大な

懸念を覚えております。

ついおとといという突然のことですから、詳細は別の機会に譲りたいと思っておりますし、政府の支援策の枠組みについては先ほど前川委員の御質問に大臣も御答弁されておりましたので、その点は省いていただいても結構でございます。国として地域住民の足を守る、鹿児島県の県民の多くの方々にかかわるこの足を守るというために、国としても是非特段の御努力をお願いしたいと思いますけれども、いかがでしょうか。

●北側一雄国土交通大臣

今、仁比委員からお話がありましたとおり、五月の八日の日に岩崎グループ五社から鹿児島運輸支局及び宮崎運輸支局に対して路線の廃止届出がなされました。おっしゃっているとおおり、廃止キロは一千百七十四キロ。これ八日にあつたばかりでございますので、詳細な届出内容、まだそれぞれの路線がこれまでどういう状況であったのか等々は、現在精査をしているところでございます。

これは、道路運送法では、路線の廃止は事前届出制でございます。基本的には事業者の経営判断により、届出がありまして六か月で何もないとその路線の廃止が決まってしまうということになってしまふわけでございます。ただし、今委員がおっしゃったように、このバ

日本共産党の仁比聡平参院議員は5月10日の参院決算委員会で、鹿児島県の岩崎グループが208路線、1174キロものバス路線の廃止を5月8日に九州陸運局に届け出た問題を取りあげました。以下、質問の要点です。

ス、ここだけではございませぬけれども、地方バス路線というのは非常に地域にとって、高齢者の方々やまた学生にとりまして必要不可欠な公共交通機関でございまして、この地方バス路線の維持確保というのは大変重要な課題であると認識をしております。よく県と、そしてまた市町村とこれから協議をされているところでございます。都道府県が主宰します地域協議会がこの件についても開かれるかというふうに思っております。そこで今後どうしていくのかよく協議をさせていただきたい。

いずれにしても、多くの地域の方々の貴重な足でございまして、その足をどう確保を今後していくのかという観点からしっかりと対応をさせていただきますと考えております。

◎仁比聡平参院議員

規制緩和、このバスの問題でも、以降、国の支援の在り方も随分それ以前とは変わったという中で、現在の支援策の枠組みという中ではなかなか対応がしづらいという事情も出てくるかと思うんです。ですから、そういった意味では特別な対策が必要になるかもしれないんですが、そういうことも含めて是非御検討を強くお願いをしておきたいと思っております。



「地域の貴重な足をどう確保するかという観点から、しっかりと対応したい」(国土交通相)